

第15回全日本ユース(U-15)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2022/12/26】

この試合のプレー集計

準々決勝

石川県選抜 11

2	—	4
2	—	1
3	—	0
4	—	0
PSO		

5 山口県選抜

審判： 黒谷 真功
中村 友美

石川県選抜	18	SH数	24	山口県選抜
	5	速攻数	10	
	7	ST・SB	8	
	10	SH・P誘発アシスト	3	
	67%	GK阻止率	8%	
2	EX反則数	6		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1回戦完勝した石川と、チームカラーが似通った山口との対戦の準々決勝第1試合。山口は第12回大会の準優勝以上、つまりは初制覇を狙っての満を持しての登場。両チームともによく泳ぐことから、ユース世代らしい見ごたえのある攻防が期待できる一戦。

【1P】

センターボールから山口がセンター位置で退水を誘発し、トップ位置の⑤若月が決めて先制。すかさず石川が左サイドから⑤水浦が決めて同点に。石川は積極的に泳いだが中央から③高橋が決めて逆転。山口も⑤若月がややミドルレンジからのシュートを叩き込んで同点にする。石川の攻撃はスペースを作れない状況が続き、ターンオーバーから山口⑧濱川が退水を誘発し、そのまま左サイドから決めて3点目。ピリオド最後、⑤若月がブザービートSHを左サイドから決めて2点差で第1ピリオド終了(石川2-4山口)。

【2P】

山口がセンターボールからセンター⑤若月が決めて3点差。石川はペナルティで点差を詰める(②名倉が得点)。このあたりから石川の泳ぎが徐々に勝り始め、⑧前田がペナルティを誘発して、ここで1点差に迫る(②名倉がPシュート得点)。石川の⑦中村、⑧前田のスピードが山口を翻弄させる場面が増えてきており、全体的には石川ペースで試合が動いてきた第2ピリオド。それでもまだ山口がリードして後半へ(石川4-5山口)。

【3P】

リズムの出してきた石川が山口のゴール前へ圧力をかけて退水を誘発し、②名倉が決めて同点にする。山口は距離のある所からのシュートが増え、そのシュートを⑦中村がブロックし、そこを全員で泳いで中央から⑫前田が決めて石川が逆転。続いて似たような山口外周シュートからの石川の攻撃で退水を誘発して、⑤水浦が決めて2点差に。山口にもチャンスはあるが、今一つスピードが上がりず外周シュートも決まらない展開が続く。石川7-5山口で最終ピリオドへ。

【4P】

山口が攻めあぐねて外周シュートが外れ、そこを起点に石川が中央から⑤水浦が決めて3点差。石川ペースが続き、退水から③高橋が決めて4点差。山口は前に入れないまま外周シュートに終始し、それを逆に石川に突かれて失点を続ける展開。石川ゴール前への圧力をかける攻撃ができないままずると失点を重ねてしまった。最後は山口らしい攻撃が全く影を潜め、石川側のいい点ばかりが現れた試合となった。最終的には石川11-5山口と、後半の2ピリオド、山口は無得点に終わってしまった。

山口はもっと勇気をもって前に入っていければ、試合の流れを引き戻せたかもしれないが、試合序盤で比較的楽に点数が取れたことが自分たちのペースを惑わす要因だったようにも思われる。石川は積極的に前へ出る水球がこの世代では大事だということを再認識でき、自分たちのスタイルをそのまま試合にぶつけてさらなる上位へ向かってほしい。